

平成19年 3月 5日

平成18年度名古屋大学総合技術研究会参加 報告書

物理・化学系班 鈴木 猛

1. はじめに

本研究会は、大学、高専の技術職員が日常業務で携わっている広範囲の技術的研究支援活動について発表する研究会として企画された。そのため、発表内容も通常の学会等とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫、失敗談等を重視し、技術者の交流および技術向上を図ることを目的とされており、この研究会に参加することは、技術向上に役立つものである。

2. 主 催

名古屋大学総合技術研究会実行委員会

3. 開催日時

2007年 3月 1日(木)13時から3月 2日(金)

4. 開催場所

名古屋大学工学部

5. スケジュール

第1日

- ・特別講演 平野眞一 名古屋大学総長
- ・各分野口頭発表・ポスター発表

第2日

- ・各分野口頭発表・ポスター発表
- ・見学会

5. 所感

本研究会は、8分科会、11会場で167テーマの口頭発表、133テーマのポスター発表、参加人数756名の規模で開催された。内容も多岐にわたり、実に専門的な研究から実に身近な問題に関することなど、さまざまな発表がなされ非常に興味深かった。高専からの発表も多数あり、技術職員の意識の高さを改めて感じた。

今回は、1日だけの参加となり分野を絞った聴講となった。また、一部期待したテーマの発表が聞けなかったのが残念ではあったが、有意義な研究会であった。